

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	カムカムメニューの普及活動
事業主体 (連絡先)	松本歯科大学 社会貢献・地域連携推進センター TEL: 0263-51-2188
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	858,623 円 (うち支援金: 643,000 円)

### 事業内容

健康な口腔機能を維持することは、命を守るための栄養補給はもとより、人々の生活を高い質で営むために非常に重要である。食べるための「口の健康」の意識を地域ぐるみで考え、高めていくことは健康寿命を延伸するために必要である。食材や調理法を工夫して、よく噛んで食べると美味しく食べることができる「カムカムメニュー」を普及させるためカムカムメニュー写真コンテスト、講演会、試食会を開催した。地域住民の「食」への意識が高め、食生活に関する啓発活動を展開し、地域住民の健康寿命延伸や活気ある地域社会の構築に大学が貢献することを目指している。



【試食会の様子】

### 【目標・ねらい】

食べるための「口の健康」の意識を地域ぐるみで考え、地域住民の健康寿命延伸や活気ある地域社会の構築に大学が貢献すること。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

カムカムメニューのコンセプトについて理解を促すために、講演会および試食会を開催した。その結果、昨年と比べて写真コンテスト応募作品数は約1.3倍、講演会参加者数は昨年のフォーラム参加者数の約1.5倍となった。また試食会参加者は昨年のフォーラム参加者数の約2倍と、多くの人々の食への関心が高まったと考えられる。

実際にカムカムメニューを試食した方々から、日常の食事のあり方のヒントを得たとの意見を聞くことができた。これをきっかけに、カムカムメニューを理解し、実践し、「口の健康」の意識をたかめてもらいたい。

※自己評価【 B 】

【理由】  
試食会の参加者が非常に多かった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

カムカムメニューへの関心を高めることができているが、実際にカムカムメニューを考案したり、日常的な食事に取り入れたりができているかは把握できていない。コンテストへの応募数がカムカムメニューの実践と捉えると、未だ多くないのが現状である。カムカムメニューの実践という点を視野に入れて今後の取り組みを考えたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある